

(西暦) 2021 年 5 月 8 日

## 慢性中耳炎の治療のため当院に入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた臨床研究についてのお知らせ

はじめに

### 【研究の意義、目的を記載】

当院では鼓膜形成術を施行しており、患者さんの状態やご希望に応じてフィブリン糊を使用せず皮下組織片を固定する工夫をおこなっています。当院の鼓膜形成術症例の治療成績を検討することで手術技術の検証をおこなうとともに、フィブリン糊を使用しない工夫をおこなっても成績に影響しないことを確認することが目的です。

対象

2011年4月より2015年10月までの間に、耳鼻咽喉科・頭頸部外科にて、慢性中耳炎などの治療のため鼓膜形成術を受けた方

### 【試料・診療情報等の項目】

試料：なし

診療情報等：年齢、性別、鼓膜穿孔の大きさ、手術術式、術後経過、術後聴力

### 【試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法】

本研究で使用される診療情報等は他機関への提供は行いません。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、玉江昭裕までご連絡をお願いします。

研究課題名

当科における鼓膜形成術症例の治療成績および接着法とフィブリン糊を使用せずに皮下組織片を固定した症例との比較

### 【方法を記載】

当科にて鼓膜形成術を施行症例のうち、半年以上経過をおえた63耳を対象とし、うち聴力評価可能な61耳については聴力改善成功率も検する。また、当科では症例を選んで中鼓室および外耳道にゼラチンスポンジを充填することでフィブリン糊を使用せず皮下組織片を固定する工夫(ゼラチン法)をおこなっており、接着法鼓膜形成術症例と比較する

個人情報の管理について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、氏名と患者番号のみですその他の個人情報(住所、電話番号など)は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ(匿名化データ)として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報(連結情報)は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。

研究期間

西暦 2021年5月20日～2022年3月31日(予定)

医学上の貢献

例：本研究により被験者となった患者さんが直接受け取ることができる利益はありません。しかし、本研究により手術術式の妥当性が明らかになる事により、新たな知見が得られることで科学への貢献が為され、社会への貢献が達成されると考えられます。

研究実施機関

【診療科・部門名】 国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 耳鼻咽喉科  
(他に共同研究機関があれば記載のこと)

【当院での研究責任者】 所属 耳鼻咽喉科 職名 部長 氏名 玉江昭裕

【利用する者の範囲】

所属 耳鼻科 職名 医師 氏名 安井徹郎  
所属 耳鼻科 職名 医師 氏名 岡部翠  
所属 耳鼻科 職名 医師 氏名 松永啓秀  
所属 耳鼻科 職名 医師 氏名 浦本怜奈

お問い合わせ先

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

【対応者の氏名・所属・連絡先（ダイヤルイン電話番号、FAX、E-メールアドレス等）、および対応する時間帯（制限がある場合）を記載のこと】

玉江昭裕（所属 耳鼻咽喉科 ） 092-721-0831（病院代表）

以上